福岡ひびき信用金庫

2026年度上半期（2026.4.1～9.30）
経営内容のお知らせ

平素は格別のお引き立てを賜り、心から厚く御礼申し上げます。

当金庫の2026年度上半期（2026.4.1～9.30）の業績がまとまりましたのでご報告いたします。

今後も、地域金融機関として地元の皆さまのご期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。

預金・貸出金の状況

2026年9月期の預金積金残高は、8，346億円となりました。
2026年9月期の貸出金残高は、4，294億円となりました。

■預金積金残高

（単位：百万円）

	2026年3月期	2026年9月期
預金積金残高	**805,631**	**834,655**
流動性預金	455,802	473,747
定期性預金	349,813	360,880
その他の預金	15	28

■貸出金残高

（単位：百万円）

	2026年3月期	2026年9月期
貸出金残高	**417,864**	**429,438**
割引手形	922	827
手形貸付	23,323	25,874
証書貸付	369,327	374,975
当座貸越	24,291	27,760

損益の状況

2026年9月期の当期純利益は、759百万円となりました。

■損益の状況

（単位：百万円）

	2025年9月期	2026年9月期
経常収益	**7,999**	**11,801**
経常費用	**6,027**	**10,817**
業務純益	**2,061**	**615**
コア業務純益	**2,367**	**4,495**
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	**2,124**	**1,917**
経常利益	**1,971**	**983**
税引前当期純利益	**1,970**	**978**
当期純利益	**1,353**	**759**

出資金及び会員数の状況

信用金庫は、営業地域内の中小企業や住民の方々を会員とした協同組織の地域金融機関です。
地域の皆さまからお預かりしたご預金等をもとに、会員の方はもちろん地域の皆さまに広くご融資しております。
信用金庫は地域の中小企業や住民の皆さまに安定した資金を提供することで、地域の再生・活性化を図ることを使命としております。

■出資金および会員数

	2026年3月期	2026年9月期
出資金残高（百万円）	**3,353**	**3,326**
会員数（人）	**70,405**	**69,653**

有価証券の状況

当金庫では主に国内の債券を中心に有価証券運用を行っております。
2026 年9月期の評価損益は△15，633百万円となりました。

■有価証券の状況　（単位：百万円）

	2026年3月期				2026年9月期			
	時価	評価損益	うち評価益	うち評価損	時価	評価損益	うち評価益	うち評価損
株式	4,630	974	1,056	82	4,038	988	1,017	29
債券	141,467	△ 15,304	27	15,331	161,037	△ 16,852	17	16,869
その他	138,617	4,046	7,460	3,414	139,456	230	4,780	4,550
合計	**284,714**	**△ 10,283**	**8,544**	**18,828**	**304,533**	**△ 15,633**	**5,815**	**21,449**

（注）1. 上記の「その他」とは外国証券及び投資信託等です。
2. 評価損益には帳簿価額（償却原価）と時価との差額を計上しております。

不良債権の状況

金融再生法開示債権による不良債権比率は2.87%となりました。
不良債権に対しては十分な引当を実施しており、内部留保とあわせて備えは万全です。

■金融再生法上の不良債権残高　（単位：百万円）

	2026年3月期	2026年9月期
金融再生法上の不良債権（A）	**11,395**	**12,611**
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,794	4,375
危険債権	8,600	8,235
要管理債権	0	0
正常債権	**407,357**	**426,699**
合計（B）	**418,753**	**439,310**
不良債権比率（A）/（B）	**2.72%**	**2.87%**

（注）1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻の状態に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3.「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権をいいます。
4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

自己資本の状況

当金庫の 2026年9月期の自己資本比率は、12．40%となりました。
国内基準の4%を大幅に上回っており、経営の健全性を維持しております。

■単体自己資本比率　（単位：百万円）

	2026年3月期	2026年9月期
コア資本に係る基礎項目の額　(イ)	**55,900**	**56,590**
コア資本に係る調整項目の額　(ロ)	**343**	**328**
自己資本の額（（イ）-（ロ））　(ハ)	**55,557**	**56,261**
リスク・アセット等の額の合計額　(ニ)	**464,789**	**453,511**
単体自己資本比率　(ハ)/(ニ)	**11.95%**	**12.40%**

（注）自己資本比率の算出方法を定めた告示の改正に伴う新しい自己資本規制に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

当資料に掲載している諸計数等は、当金庫へのご理解を深めていただくために任意に開示しているものであり、会計監査人の監査は受けておりません。
また、各計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示しております。

福岡ひびき信用金庫　〒805-8520　北九州市八幡東区尾倉 2-8-1　TEL　093-661-2311（代表）